

11月17日(金) 安土城跡、文芸の郷巡り

織田信長が天下統一をめざし天正4年(1576年)に築城にとりかかった平山城。その3年後我が国で初めて天守閣(天主閣)を持つ安土城が完成した。しかし完成から3年目の1582年、明智光秀の謀反により信長は本能寺で自刃。混乱の中6月14日原因不明の火災により天主などを消失した。

集合は JR 安土駅



前日からの大雨で心配したが
当日はなんとか雨もやみほっ
と一安心

安土駅より20分ほどで「文芸

の郷」到着、早速「信長の館」で安土城ゆかりの展示物を見学、また安土城考古博物館なども見学。圧巻は原寸大の天主閣(古文書などの資料を基に再現)、金色の装飾と朱色の柱、内部の豪華絢爛たる壁画が素晴らしい。



信長の館

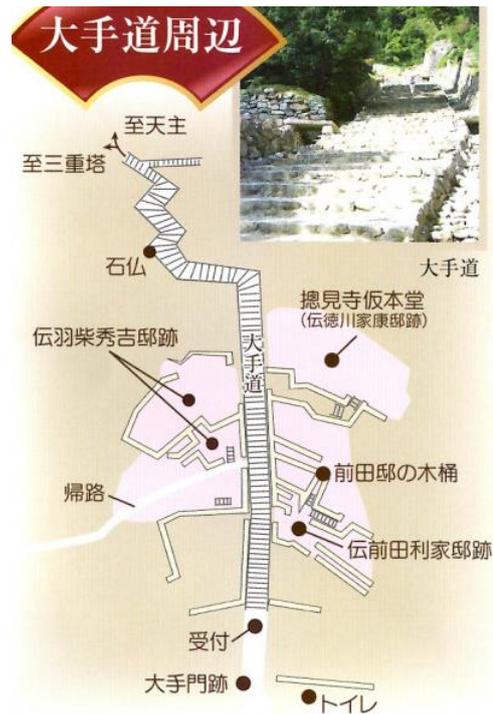


再現された天守閣

午後からガイドさんの案内で特別史跡安土城跡探訪

安土山麓の石標識が出発点

まず大手道を登る



途中にある家臣団の屋敷跡なども見学

まっすぐ延びる大手道は信長の専用道路
全部で400段以上あり、きついきつといいながら登る。



羽柴秀吉の屋敷跡は流石に広く石垣に囲まれ豪華。ただし、これには「伝」がつき確定したものではないとのこと。

大手道を登り切ったところ「黒金門」跡がありそこから先が本丸や天主など信長が居住した屋敷跡になる。



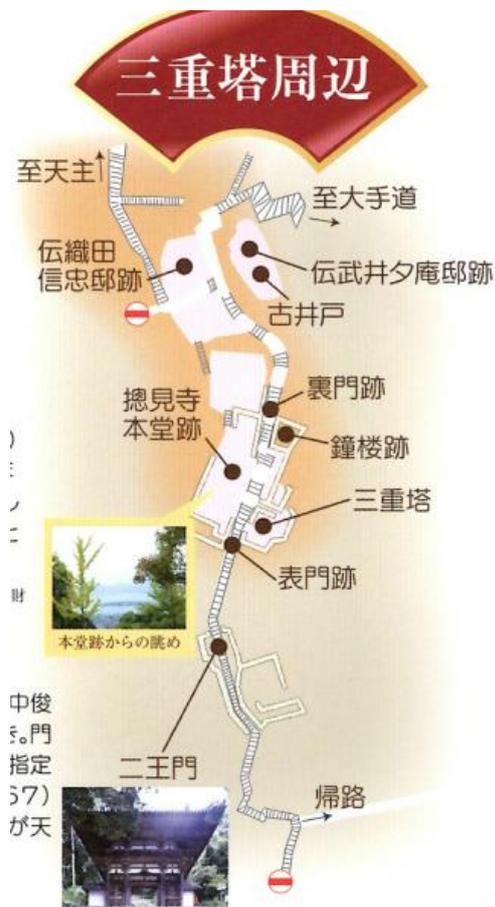
黒金門跡に置かれた説明案内板



本丸跡のそばにある信長公の本廟。秀吉によってまつられたものと言われる。信長の遺骨は見つからなかったので陣羽織などの遺品が埋葬されている。



天主跡は広い平地で建物の礎石が規則正しく並んでおりここにあの豪華絢爛たる天主閣があったと思うと感慨深いものがある。



三重塔(重要文化財)

本丸跡からの帰りは大手道とは違う石段を通る。
 この道は信長の家臣団や一般民衆が通る道。
 途中に惣見寺本堂跡や三重塔(重要文化財)などがある。
 帰路はまちなかを散策して安土駅に戻る。

今日一日何とか雨も降らず一人の落伍者もなく無事安土城探訪を終える。
 みなさんよく頑張りました。